

2017年(平成29年)2月22日(水) 第30回 例会 (通算2736回)



人類に
奉仕する
ロータリー

RI 会長: ジョン・F・ジャーム

Weekly Report No.2616

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ

地区ガバナー: 上山 昭治氏

「出会いを大切に」



ロータリーレート \$1=¥116

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1986~1987年度



二十六代会長 黒島 清

副会長	宮城 辰雄	幹事	三木 巖
副幹事	勢理客 吉雄	会計	黒島 直建
会場監督	大濱 正良	クラブ奉仕	宮城 辰雄
社会奉仕	田場 恵順	職業奉仕	豊川 敏彦
国際奉仕	宮良 徹		

- 県内の金融機関関係者をお招きし「一般公開例会」としての講演会を開催
- 稚内 RC との「交流の夕べ」

《社会情勢》

- 1986年 ・大量の短銃密輸事件の発覚
- ・与那国空港拡張で輸送量増
 - ・新空港問題で賛否の動き活発化
 - ・宿願の於茂登トンネル開通
 - ・竹富島を国の町並に選定
 - ・第1回ばいぬ島まつり

【RIテーマ】

ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは 希望を もたらす



1986~87年度 RI会長
M.A.T.カパラス
(フィリピン・マニラRC)

会 長	: 前木 繁孝	副 会 長	: 大浜 一郎	幹 事	: 前原 博一
副 幹 事	: 宮城 早人	SAA・出席	: 遠藤 正夫	情報・会報	: 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishirota@ninus.ocn.ne.jp

— . . . — 第2735回 2017年2月15日(水) 例会報告 — . . . —

- 司会進行： 小底 厚子
- ロータリーソング：手に手つないで・四つのテスト
- ソングリーダー：宮良 榮子
- ゲスト： 新本 博司氏(ガバナー・ミニデジグネート)
- ピジター： 木村平右衛門氏(東京 RC)
- メークアップ： 小林昌道・白道直行・宮良幸男
遠藤 正夫

■出席報告

会員総数 38名 出席義務会員 37名
出席数 23名 欠席数 14名
出席率 62.16%(2月通算出席率 63.96%)

本日のここここ

	小 計	累 計
BOX	¥8,000	¥156,000
コイン	¥2,641	¥108,299
合 計		¥264,299

- 皆さんにお会いでき嬉しく思います。地元の絶大なご支援をよろしくお願い致します。(新本 博司)
- 島の空気吸いに来ました。よろしくお祈りします。
(木村 平右衛門)
- 新本ガバナー・ミニデジグネート卓話ありがとうございます。
(大浜 勇人)
- 今日は新本デジグネート、木村さまご来島ありがとうございました。
(前木 繁孝)
- 新本博司様、有難う御座いました。(大濱 達也)
- 今日は新本さん、木村さん、石垣島まで来ていただき、ありがとうございました。
(前原 博一)

会長挨拶：前木 繁孝

地区大会の翌週に東京に行く用事がありまして、その際にお世話になった木村さんと、嶋村さんにお礼をしたいなと思ひまして、まず嶋村さんに声をかけましたら、用事があるのでここに来てほしいという事で、その場所に行きました。それで木村さんには連絡できずそのまま帰ってききましたが、木村さんには大変失礼しました。それで嶋村さんのお母様と同席をしまして、銀行の方と一緒に会食をしました。とても気さくなお母様で私より12歳年上なんですけど、活発で今でも嶋村運送の経理をなさっているという事でした。話が盛り上がって二次会は嶋村さんと私とお母さんとでカラオケまで行って盛り上がり帰って来たという状況です。

今日は我が親クラブでもあります那覇クラブから新本博司さまをお迎えしております。そして東京クラブから木村平右衛門さんにお越し頂いております。木村さんは本当に石垣で知らないメンバーはいないというほど親愛なる私たちの友人です。今日は新本ガバナー・ミニデジグネートのお供と言う事で、駆け付けて頂きました。新本博司さまは那覇クラブ所属でありまして、地区大会でデジグネートに就任されたと言う事でご挨拶をされておりました。その新本さまが石垣白保のご出身であるという事、その方が2580地区70クラブを統括するガバナーに2019-20年度就任されるという事で、すごく誇らしいことだと思います。あと2年半後にガバナーとして就任されます。その時に向けての準備がスタートされているようです。デジグネートとは？とお尋ねしました。指名打者の事だと、ノミニーの指名をされた人をデジグネート称されると、新本さんに教えて頂きました。半年後にはノミニーになられます。翌年はエレクト、そして2019-20年度のガバナーに就任されるわけですね。これから大変ハードな日が続くと思いますが、お身体には十分ご留意され、沖縄の代表として、2580地区の代表として頑張ってくださいなと思います。

委員会報告

◎仁開 一夫(ロータリー財団委員長)

皆さんのご協力でロータリー財団へ寄付100%(Every Rotarian Every Year)という事で、地区大会で表彰を受けました。フラッグが2種類届いていますのでご報告いたします。石垣 RC は沖縄分区の中では歴史は2番目ですが、ロータリー財団、米山に関してはほとんど今までやられていなかったのが現状でした。今回沖縄分区から那覇、石垣、那覇西、宜野湾、那覇南、那覇北の約半分くらいのクラブが表彰されています。

◎大浜 勇人(国際奉仕・米山委員長)

来る5月13・14日で米山の関連でモンゴルへのお誘いがございまして、モンゴルのロータリークラブの周年事業という事でお祝いに行き参ります。もし参加されたい方がいましたら私まで声をかけて頂きたいと思ひます。

ゲスト卓話：新本 博司氏

2580 地区ガバナーノミニーデジグネート



～今こそロータリーで～

親愛なる八重山の私の地元の会員である皆さん、こんにちは。会長からご紹介いただきまして、大変嬉しくまた高揚の感を持ちながら、この壇上に立たせて頂いております。この度 2019-20 年第 2580 地区のガバナーに指名委員会から指名を受け、そして先日の地区大会において承認をされました。

なぜ私がロータリーを愛しているのか、生い立ちを交えながらご紹介したいと思います。新石垣空港に降り立った時、何か感慨深いものを感じました。あの場所は私が高校時代にパインの草取りをしたり、パインを工場に運ぶアルバイトをしていた場所です。従って大変懐かしく思いますし、私は那覇で八重山経済人フォーラムの会長を 10 年以上務めましたので、今日この場におられる八重山経済人会議の大浜 一郎さんとは二人三脚でこの石垣空港の問題は議論し、訴えながら、今新石垣空港が繁盛している事に対して、大変嬉しく思います。当時 70 万人だった観光客が 120 万になったと、我々は 150 万を設定してインフラ整備をするべきじゃないかと言っていました、早くも 120 万という目標が達成され、150 万人もすぐ来るんじゃないかという思いがします。

私は石垣白保の出身で、1945 年台湾で生まれましたが、母の故郷である石垣に戻って、親戚からのご支援を得ながら、小さい茅葺の家を皆さんに造ってもらって、高校まで白保で過ごしました。八重山高校を卒業して、もちろん大学を出る費用がありませんでしたので、まずは東京へ行こうという事で那覇を経由して大阪へ、大阪から夜行で東京に行って、代々木の千駄ヶ谷にある会社に就職をしました。1964 年、その頃はオリンピックの年で、新宿の西口もまだ舗装もされていなくて

した。高速道路がオリンピックに合わせて出来るという時代でしたので、遊ぼうと思えば歌舞伎町に行って遊べる雰囲気ではありました。私は東京にせっかく出てきたので、何とか大学に行きたいと思い、代々木のゼミに行きまして、受験勉強をして大学受験をしました。そして運よく一番安かった大学に入りました。大学の学費はアルバイトして稼いで 4 年間過ごしました。法学部でしたので、将来は弁護士を志しておりましたが、卒業するとどうしても経済的に困窮していますので、まず沖縄で仕事をしようと思ってみました。石垣を 18 歳で出て、沖縄にどういう会社があるかも分かりませんでしたが、琉球石油が募集しているという事を聞き、就職試験の申し込みをしました。琉石という会社の名前は聞いた事がありましたが、それほど知りませんでした。100 名近く受けて通ったのは私含めて二人だけでした。当時創業者の稲嶺一郎さんが、私が入社した翌年に参議院議員になりました。昭和 49 年私が総務にいる時に秘書にならないかという事で、4 年間東京に行きました。稲嶺一郎さんは厳しい人で、大変しごかれました。皆さん辞めていく中で、私は書生の身と言う事で、いろんな面で勉強させて頂きました。私の人生を変えたのはこの稲嶺一郎という創業者のおかげではないかと思っております。琉球石油に入社して、途中いろんな形で勤務しましたが、大変素晴らしい 40 年間でした。今考えますと、琉石の創業者の考えについて行けたのが良かったのかなと思っております。

ロータリーへの入会も、当時の副社長が自分の後継者として、那覇ロータリーに入らないかという事で、入らせて頂きました。沖縄を創る、琉球政府時代からのそうそうたるメンバーが那覇 RC におられました。そして那覇 RC は東京 RC に所属されていた、当時三越の専務の瀬長良直さんが、沖縄にロータリーを創ろうという事で 1959 年に設立されました。今年で 58 年になります。そして 2 番目にできたのが石垣 RC です。ロータリークラブになぜ入るのか、何が楽しいのかという事は、皆さん日頃からお考えだと思います。ロータリーというのが私の信条にもものすごく合っていたと、琉石という会社も作業の公共性に徹し、社会の信頼に応えようというのが社是なんです。やはり企業というものは何のためにあるのか。頑張ったものは社員に還元し、社会に還元し、そして世の中

を幸せにするという企業でなければ、今後は生きていけない。そういう事をお互いが考えながら社員教育、そして社会貢献をしていくという事。これまでは金さえ儲ければ何でもできるという時代があったかもしれませんが。しかしこれからは真実に、真剣に企業経営をしていくというトップの方針が社員に影響を与える、社会に影響を与える、これが一番大事なんです。企業というのは個人のものではないです。公共的なものです。如何に人を幸せにするかを絶えず考える、売り上げを伸ばすことが大事ではなくて、この会社が存在していることが如何に社会にとって有益なのかという事をトップから末端の社員までそれを浸透させていく事によって、この企業が社会から認められる。これがないと今後の企業と言うのは成り立って行かないと思います。

ロータリーのいろんな流れの中で、私がいつも気にしている事は、ロータリーとは何だろう、他の団体とどう違うのか、なぜ参加すべきかということの答えみたいなものを書き綴りました。「様々な国、文化、職業の違うリーダーが集まり、アイデアを広げ世界中の地域社会の為に行動しているのがロータリーです。友人、隣人、仕事仲間異なる視点を結び付け、新鮮なアイデアを交換し合える、生涯にわたる友情を築くことによって、そして行動することによって、実践をしております。なぜなら私たちは新しい考え方や持続可能な解決策を持って、地元の根強い問題に取り組んで行動する人々の集まりだから」それが私の言いたい事でありました。ぜひこれから2年後であります、色々な形で皆さんにご協力ご支援をお願いすることが多々あるかと思いますが、私はロータリアンが皆さんの職場の構成する職員がやはり生き甲斐を持って、そして社会の為に還元する、そして感動を共有していくという事を、社長のみならず一般の職員まで和気あいあいと楽しい環境になったとしたら、ロータリーの本髄が発揮され、そしてロータリーにもっと入ろうじゃないかという事が来るだろうと思います。一期一会の心で、本当に入って良かった、そしてロータリーというものはこういうものなんだという事を社会に伝えることができれば私も本望であります。今日はどうもありがとうございます。



例会風景

